

夢 (ゆめ)

文責 校長 池田 新

- 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 -

1 9月9～11日に「一学期末テスト」を実施しました

武雄市内小中学校は二期制なので前半（半年間）の学習内容の理解度・定着度の確認のために「一学期末テスト」を実施しました。テスト勉強に集中するように、試験前三日から部活動中止でした。

テスト前には【テストを受けるときの心構え】を再確認することで「持てる実力を100%発揮する」「将来を含めて試験を受けるときの態度を身に付ける」指導も行っています。特に、「テスト用紙配布時は黙想立腰により気持ちを落ち着けて集中力を高める」「テスト中はよそ見・居眠り・不正をしない」ことを重視しています。

時間いっぱい・真剣に取り組んでいる生徒がほとんどでした。特に、3年生は義務教育を終える卒業時に、「希望進路が実現できるように！」と真剣そのものでした。1・2年生も卒業時の進路を遠い未来のことではなく、1～2年後という近い将来のことととらえて、「今の学習内容をコツコツと地道に確実に身に付ける」ことの重要性を理解してほしいと思います。

今後も、文武両道で自己研さんに努めることで、「自己実現」を図れるように何事にも一生懸命に努力する川中生の育成をめざして取り組みますので、ご協力とご支援をお願いします。

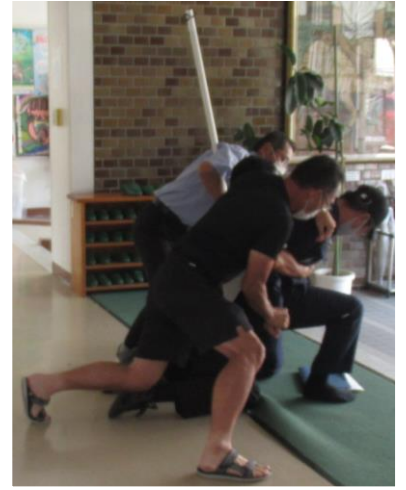
2 9月9日に「避難訓練（不審者対応）」を行いました

不審者侵入に対して、安全かつ冷静に対応できる実践的能力や態度を養うために実施しました。先日の福岡市内商業施設での女性が殺傷される痛ましい事件の発生に、報道の中での遠い事件ではなく身近に危険が潜んでいると認識して真剣な態度で訓練を行うことができました。



警察署の方からは「生徒の真剣な態度が素晴らしかった」と講評がありました。他人ごとではなく自分のことと認識して、「自分の命は自分で守る!」「家族の命も自分が守る!」という意識と知識を持つための避難時の意識が高まったと感心しました。

犯人を取り押さえる訓練を職員で行いましたが、怒号が飛び交う場面での恐怖心、犯人の「痛いから離してくれ。」に応じない緊迫感に、危機迫る訓練となりました。校長として、



命を守ることは生きる上で最重要である。実際の場面で正しく判断して安全に避難するためには避難訓練を自分自身のことと考える真剣に取り組むことが重要である。多くの情報を得ることは大切であるが、自己判断できる知識と意識を高めることが重要である。今後、災害に遭った際には訓練を思い出して最善の避難ができるようにしてほしい。

と期待感を込めて話しました。

3 心の教育として「みんなのありがとうメッセージで満開にしよう」

優しい心・感謝の心・相手を思いやる心・自分自身を慈しむ心が豊かな川中生になってほしいとの願いから、校舎内に掲示しています。いろいろな場面での感謝の気持ちが書かれており、暖かい心の持ち主であることを感じると共に、その気持ちに気付く心も素晴らしいと思います。



4 令和2年度杵島武雄地区1学年ソフトテニス大会で入賞しました

【第3位】古川正人（1年）一ノ瀬宏希（1年）

5 第70回杵島武雄地区児童生徒理科作品展で入選しました

【佳作】小野紫緒里（2年）「野菜からDNAを取り出そう」

【入選】坂田美空（1年）「液体中分子の動き」

【入選】浦川桃花（1年）「ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の生態」

【入選】山口遼晟（1年）「海水の濃度を調べよう」

6 第66回全日本中学生通信陸上競技大会佐賀大会アシックスチャレンジカップ

【第2位】川浪明美（3年）共通女子走り高跳び 1 m 4 0

【第3位】松尾美樹（3年）共通女子走り幅跳び 4 m 8 3

【第7位】梅津 翔（3年）共通男子1500m 4分39秒53

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

(新) 川登中学校HP・・・<https://www.education.saga.jp/hp/kawanobori-j/>